

一般質問



災害に遭わない河川整備を 角館高校、南高校の存続は

小林 幸悦

市の地球温暖化対策は

質問 地球温暖化防止について自治体の出来る施策はないか。

温暖化現象が原因で起こる異常気象の中で本市がもつとも心配される大雨の問題について訊ねる。今年の旧月検木内を中心に被害をもたらした豪雨はそれだと断言できないかも知れないが関わりも否定出来ないものと思う。それらは直ちに解決できない、時間のかかる問題でもあるので、災害が起きてどう備えるかを考えることが必要だと思ふ。

浸水しやすい土地や、土砂くずれの危険性の高い土地に立てられた住居や施設をどう守るか。人がどこに住むかという視点で、土地の利用方法を聞かせてほしい。

河川公園も復旧する際、被害に遭っても、経費のかららない整備をすべきと思うがどうか。

市長 仙北市の温室効果ガス排出量の削減目標はまだ出ていないが、具体的、実効性のある削減数値目標のある計画にしていきたい。

但し、十九年度については旧角館町の計画を準用して仙北市として削減に努めている。

る。

同様な豪雨が来たときのことを考え、ハザードマップをつくり、危険度の高い所から対策をとっていく必要がある。

建設 財政的問題等を含めて河川改修はなかなか進まない。議員始めいろんな方に陳情していた、だき今県の河川管理が進められている。ご指摘の形の整備が一番いいが今回は現状復旧である。

二校存続はどうなる

質問 市長は県立角館高校、角館南高校の二校存続を強く望んでいたが、存続についてどのような協議をされたのか。

又、現在の少子化を考えるとどうやって二校の生徒確保をするのかも難しい。二校存続を望むとすればその方策は何か。

市長 角館地区の高校教育が、一校でとなると、選択肢として狭い範囲であり、本当に人を育て上げられるのかという観点から県に見直しを求めている。大学であれ、専門学校であれ上級学校を目指す進学校といわれる高校と高校卒業後社会に即対応できる教育を受けられる学校が独立してあ

って初めて子供たちの教育に役に立つのではないかと地域振興局に申し上げているが、はかばかしい回答は得られていない。二校存続の会も同じスタンスである。生徒確保については、角館高校、南高校の校長を始め、従来から角館地区に生徒を送っていた、だき、受験していただくよう活動をしている。

本庁舎の調査の進み具合は

質問 本庁舎の位置についての調査・検討はどこまで進んでいるか。そろそろ案を示す時期ではないか。分庁舎方式では職員減は難しい。延びれば延びるほど特例債がなくなるのではと心配である。建設計画の見直しもありえるとのことだったが建設計画はいつまで決断されるか伺う。

市長 庁舎については、候補地、候補の既存建物、庁舎に求められる機能、概算事業費、財源、組織のあり方を検討中である。

合併特例債は財政に余裕を持つ為約八割程度の使い方が予定していない。



岩瀬北野線の延伸は

岩瀬北野線、横町〜小館間の工事着工は

質問 岩瀬北野線未開通部分、横町〜小館間工事はどうなるのか。

かなりの経費がかかると思いたが経済効果はあると思う。道路利用者の利便はもちろんだが、地元業者を育てるという観点からも事業者向けに検討していただきたい。

市長

平成二十年度から二十七年までの計画計上はしているが、移転等の難問題を抱えた未開通部分である。計画実施の判断は投資対効果の観点から決めていかざるを得ないが市全体の中の公共事業の年次計画にも気を配りながら予備的基礎調査を踏まえて進めていく。